

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。
寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。

「人のいるところには夢がある」2026年には創業50周年を迎えるジャパン・アーツの理念です。

どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、
人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。

これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに
掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

今年も引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



アーティストサポートの詳細は
こちらをご覧ください。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 2025年度ご支援いただいた皆さま ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

<年間サポート>

【個人サポーター】

朝妻 幸雄 M.I. 岩村 和央 上村 憲裕 Y.E. K.O. 大原 志津子 片山 由美子 K.K.
北村 眞 R.K. 新貝 康司 M.T. R.T. 武田 健二 伊達 朱実 田中 治郎 東條 Lilly
苫米地 英人 K.N. 児子 弥生 S.N. 長谷川 智子 樋口 美枝子 平山 美由紀
藤野 盾臣 細沼 康子 松尾 芳樹 真野 美千代 安田 牧子 山川 和子

(匿名希望 10名)

【法人サポーター】

三和プリンティング株式会社 株式会社 青林堂 三井住友カード株式会社
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント きづきアセット株式会社
株式会社ロジックアンドエモーション ライフプラン株式会社

<ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

石坂 雅美 K.I. K.K. Y.K. 佐久間 隆弥 Rimiko N.S. 中尾 圭吾 T.H. 樋口 美枝子
K.F. 細沼 康子 M.H. M.M. 水足 久美子 水足 秀一郎 口口コミ

(匿名希望 10名)

<ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

江田 明子 T.O. K.K. 佐久間 隆弥 Rimiko M.T. 平山 美由紀 細沼 康子 M.M.
柳瀬 美佐子 口口コミ

(匿名希望 9名)

<千住真理子に「花を贈ろう!」プロジェクト>

石坂 雅美 北村 眞 城戸 健二 桑原 仁志 小森 桂子 佐藤 亨 穴倉 剛 田中 治郎
H.H. 道又 利 村上 晃彦 横田 邦子

(匿名希望 7名)

2025年6月17日現在 敬称略

お知らせ

現在2025年度年間サポートを受付中です。詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 TEL.03-3499-7720 (平日11:00~17:00 年末年始を除く)

イム・ユンチャン

ピアノ・リサイタル

YUNCHAN *Lim* 임운찬
PIANO RECITAL

2025年7月7日(月) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

7:00p.m., Monday, July 7, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

主催: ジャパン・アーツ 協力: ユニバーサル ミュージック

イ・ハヌリ：
...ラウンド・アンド・ベルベティ・スモース・ブレンド... (2024)

Hanurij Lee:
...Round and velvety-smooth blend... (2024)

J.S. バッハ：
ゴルトベルク変奏曲 BWV988

J.S. Bach:
Goldberg Variations, BWV988

主題「アリア」 Aria	第16変奏「序曲」 Variation 16 Overture
第1変奏 Variation 1	第17変奏 Variation 17
第2変奏 Variation 2	第18変奏 Variation 18
第3変奏 Variation 3	第19変奏 Variation 19
第4変奏 Variation 4	第20変奏 Variation 20
第5変奏 Variation 5	第21変奏 Variation 21
第6変奏 Variation 6	第22変奏 Variation 22
第7変奏 Variation 7	第23変奏 Variation 23
第8変奏 Variation 8	第24変奏 Variation 24
第9変奏 Variation 9	第25変奏 Variation 25
第10変奏 Variation 10	第26変奏 Variation 26
第11変奏 Variation 11	第27変奏 Variation 27
第12変奏 Variation 12	第28変奏 Variation 28
第13変奏 Variation 13	第29変奏 Variation 29
第14変奏 Variation 14	第30変奏「クオドリベット」 Variation 30 Quodlibet
第15変奏 Variation 15	「アリア」 Aria

※本公演には休憩はございません。



アンケートにご協力ください
 설문조사

イム・ユンチャン (ピアノ)
Yunchan Lim, Piano



©Shin-joong Kim/MOC

2022年第16回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて、史上最年少でゴールド・メダルを受賞、併せて聴衆賞、最優秀新曲演奏賞を受賞。

その演奏から現れる「魔法のような力」と「自然で本能的な質」(ラ・セーナ)で、世界中の聴衆を驚嘆させ、わずか18歳で、流星のように国際的スターダムに駆け上がった。決勝で演奏したラフマニノフのピアノ協奏曲第3番は、コンクールの中で最も話題を呼んだ。その演奏動画はYouTubeを介し世界中で1500万回以上も視聴され、アップされた同曲の中で最も多い視聴回数を誇る。

2024/25シーズンの主な活動には、ワシントン・ナショナル交響楽団、ロンドン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団、ベルリン放送交響楽団、ケルン放送交響楽団との初共演の他、ニューヨーク・フィルハーモニック、ルツェルン交響楽団、パリ管弦楽団との再共演が含まれる。また今シーズンはケネディ・センターのリサイタル・デビュー、カーネギー・ホールへの再出演もある。

デッカ・クラシックス専属アーティストとして、初のスタジオ・アルバム「ショパン：練習曲集Op.10 & 25」は、韓国でダブル・プラチナを達成し、世界中のクラシック・チャートで1位になった。このアルバムはピアノ部門の2024年のグラモフォン賞を獲得し、ヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤーに選ばれた。それ以前にリリースした作品には、同じく2024年のグラモフォン賞にノミネートされたクライバーン・コンクールでのリストの超絶技巧練習曲(スタインウェイ&サンズ)、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」(ユニヴァーサル・ミュージック・グループ)、KBSの「2020韓国の若き音楽家達」出演のアルバムが含まれる。2024年1月よりアップル・ミュージック・クラシカル グローバル・アンバサダーを務めている。

韓国の始興市生まれ。7歳でピアノを始め、翌年にソウル・アーツ・センターの音楽アカデミーに入学。13歳で韓国芸術英才教育院のオーディションに合格し、教師・指導者のソン・ミンスに出会う。韓国国立芸術大学の2年を修了し、現在はニューイングランド音楽院でソン・ミンスの下で学んでいる。



Yunchan Lim

イ・ハヌリ: ...ラウンド・アンド・ベルベティ・スムース・ブレンド... (2024)

Hanurij Lee: ...Round and velvety-smooth blend... (2024)

この約5分の短い作品は、イム・ユンチャンが、自身のゴールドベルク変奏曲のリサイタルツアーのために委嘱したものである。

2024年12月に完成したこの作品は、新進気鋭の作曲家、イ・ハヌリへの委嘱作品である。多くのクラシックピアニストがそうであるように、イム・ユンチャンもまた、バッハを人類史上最も偉大な作曲家ととらえており、彼は、現代作曲家の作品とバッハの代表作の一つであるゴールドベルク変奏曲を組み合わせることで、コンサートに深い意味が加わると考えていた。ともに韓国国立芸術大学に通った音楽仲間であり、イム・ユンチャンが並外れた才能を持つと評価する若手作曲家イ・ハヌリは、韓国・中央音楽コンクールの作曲部門で優勝し、最近では2024年11月にトーマス・アデスが審査員を務めるバルトーク作曲コンクールで第1位を獲得した。彼の作品は、2025年バルトーク・ピアノコンクールの課題曲に選定されている。

イ・ハヌリは、作品の内容とは無関係なタイトルをつけることを好み、彼はこの作品に、作品とは全く関係のないコマーシャルフレーズを借用するという、気まぐれなタイトルをつけた。「水を入れてお召し上がりいただくのをおすすめします。水を使用される場合は、ゆっくりと溶ける大きな氷をお使いいただくのがよいでしょう。」作曲家自身のこの簡潔な言葉は、この作品の真髄を捉えている。

J.S.バッハ: ゴルドベルク変奏曲 BWV988

原 明美(音楽評論家)

J.S. Bach: Goldberg Variations, BWV 988

バロック時代を代表する偉大な音楽家ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)は、シャコンヌやパッサカリア、コラール変奏曲など、変奏曲形式の作品も各分野に残した。その中で、クラヴィーアのために書かれた長大な「ゴールドベルク変奏曲」は、彼の唯一の本格的な変奏曲とも言える作品であり、古今の変奏曲の傑作のひとつに数えられる。

この曲は1742年に「クラヴィーア練習曲集第4部」として出版され、本来の題名は「2段鍵盤つきチェンバロのための、アリアとさまざまな変奏」というが、一般的には、作曲を依頼した人物の名をとった「ゴールドベルク変奏曲」という名称で知られている。J.T.ゴルドベルクは、ドレスデン宮廷駐在のロシア大使H.K.フォン・カイザーリンク伯爵に仕えた若いクラヴィーア奏者だが、バッハはかつて、この伯爵から、多大な援助を受けたことがあった。さて、1741年か1742年ごろのこと、バッハの住むライプツヒに伯爵が滞在した際、ゴルドベルクは伯爵の指示で、バッハからクラヴィーアの指導を受けた。一方、不眠のうちにゴルドベルクの演奏を聴いて眠りにつくことを習慣としていた伯爵は、ライプツヒに来てから不眠の症状がひどくなった。そこでゴルドベルクが、主君である伯爵の眠れぬ夜を慰めるような曲を書いてほしいと、師匠のバッハに

依頼したところ、バッハは、かつての恩人である伯爵のためにと、急いでこの変奏曲を書きあげたのである。

曲は、1725年に出版された「アンナ・マグダレーナ・バッハのためのクラヴィーア小曲集第2巻」に収められていた1曲を、主題(「アリア」)として用い、これに30の変奏が続き、最後にアリアが再現する、という構成をとる。そのうえでバッハは、中央部に位置する第16変奏を「序曲」(フランス風序曲)として、作品全体を明快に二分した。なお、元の題名にあるように、曲は本来、2段鍵盤つきのチェンバロのために書かれているため、バッハは、各変奏に1段あるいは2段鍵盤の指示も与えている。

30の変奏は、ト長調の主題のバス声部を土台に、主題を性格変奏的に処理して続けられるが、そこに、カノン、練習曲、舞曲などの要素も、巧みに組み合わせられている。これらのうち、第15・第21・第25変奏では、ト短調に転じる。さらに、カノンによる変奏を第3変奏から2曲おきに配置し、それを同音のカノンから順に始めて第27変奏で9度のカノンに到達させるなど、バッハらしい絶妙な作曲技法が目立つ。なお、最後に主題(「アリア」)が再現する前の第30変奏は、「クオドリベット」と題されているが、これは、既知の旋律をいくつか同時に組み合わせたものであり、ここでバッハは、主題のバス声部に基づく和声の上に、二つの民謡の旋律を重ねている。

全体の内訳は、次の通りである。

主題「アリア」: ト長調、4分の3拍子。

第1変奏: 4分の3拍子。

第2変奏: 4分の2拍子。

第3変奏: 8分の12拍子。同音のカノン。

第4変奏: 8分の3拍子。

第5変奏: 4分の3拍子。

第6変奏: 8分の3拍子。2度のカノン。

第7変奏: 8分の6拍子。

第8変奏: 4分の3拍子。

第9変奏: 4分の4拍子。3度のカノン。

第10変奏: 2分の2拍子。フゲッタ。

第11変奏: 16分の12拍子。

第12変奏: 4分の3拍子。4度のカノン。

第13変奏: 4分の3拍子。

第14変奏: 4分の3拍子。

第15変奏: ト短調、4分の2拍子。

「アンダンテ」と指示された5度のカノン。

第16変奏「序曲」: ト長調、2分の2拍子〜8分の3拍子。

第17変奏: 4分の3拍子。

第18変奏: 2分の2拍子。6度のカノン。

第19変奏: 8分の3拍子。

第20変奏: 4分の3拍子。

第21変奏: ト短調、4分の4拍子。7度のカノン。

第22変奏: ト長調、2分の2拍子。

第23変奏: 4分の3拍子。

第24変奏: 8分の9拍子。8度のカノン。

第25変奏: ト短調、4分の3拍子。

第26変奏: ト長調、4分の3拍子+16分の18拍子。

第27変奏: 8分の6拍子。9度のカノン。

第28変奏: 4分の3拍子。

第29変奏: 4分の3拍子。

第30変奏「クオドリベット」: 4分の4拍子。

「アリア」: 4分の3拍子。冒頭の主題の再現。